

## 奨学金革命

この通常国会での、地味でも歴史的な成果は、4月から日本に給付型奨学金の公的制度が樹立されたことです。先進国でこの種の制度がないのは日本だけでした。児童養護施設に育った子どもたちも含め給付が始まり、大学教授職出身の国会議員としての念願がかないました。小泉政権の初代少子化大臣のときから問題提起し、待機児童ゼロの次には、教育を経済理由であきらめる子どもゼロ日本を目指して、与党議員として10年越しの努力を続けてきました。この春、さもなければ教育から無念に静かに去ったかもしれない子どもが、学習現場に今もいる、、、政治はこのようなためにあると感じます。いつでも、どこでも、だれでも納得いくまで教育を受けられる国を目指して、家庭の教育費の負担軽減にさらに努力します。貸与の奨学金も制度改善が進み、成績要件撤廃の部分もあります。勤勉に勉学に勤しむことこそ、日本の伝統。資源のない国が、世界3位の経済規模になり得たのは世界史で日本が初めてです。貧しくても真つすぐにひたむきに向上心をもって生きる若い世代は、日本の宝です。日本の姿そのものです。

## 日米国会議員交流

日米関係は、経済は緊密で、安全保障では条約があり、政府間外交も充実していますが、議員同士の交流も大切です。日米国会議員会議という会議体の私は日本側団長を務め、米側でも議会の上下両院で日本に温かい関心を寄せる議員が増えています。民主的選挙を経て主権者を代表する者同士の国境をこえた共感と議論は、政府の外交を穏やかに補完し、先導し、深化させると感じます。5月の連休時を含め、議員外交に勤しみます。

## 軍縮外交

昨年末には超党派の国際軍縮促進議員連盟を立ち上げ、会長に就任しました。在ジュネーブ軍縮大使を務めた経験や、上智大学の国際政治教授時代の研究を活かして多国間軍縮外交を推進するほか、東アジアにおける核軍縮・核不拡散への政府の取組みを促進していきます。海外からの専門家との意見交換も進め、軍縮外交の主流化を目指します。

## 少子化対策

1971年代前半の第2次ベビーブーム以降、30年間にわたって出生数、合計特殊出生率(Total Fertility Rate=TFR)ともに減少傾向にありました。小泉純一郎総理大臣は合計特殊出生率が1.26と過去最低を記録した2005年10月、初当選直後の私を初代専任の少子化大臣 兼 男女共同参画大臣に任命しました。出生数およびTFRは好転し、2006年の出生数は1,092,670人と前年を30,140人、TFRは1.32と前年を0.06ポイント上回りました。2006年の出生数の伸びは1994年に50,046人増加して以来12年ぶりの大きな増加ででした。出生率は2000年以来6年ぶりに前年を上回り、前年からの伸びはおよそ40年ぶりの大幅な上昇となりました。以来TFRは上昇し、2007年には1.34、2008年および2009年にはともに1.37、2010年と2011年はともに1.39まで回復。2015年は1.45です。



## くにご通信

2017年5月号

2016年夏  
参議院議員  
として再選

参議院議員(自民党)

いのぐちくにこ  
猪口邦子

政治学博士  
(Ph.D.)

元ジュネーブ  
軍縮大使

元少子化大臣

上智大学  
名誉教授

元食育大臣



## これからの「3つのP」

3つのPを考えました。よい3Pとは: Prevention, Prediction, Productivity. 21世紀は予防Preventionの時代です。戦争も疾病も災害も予防する。そのためには予測Predictionが必要で、分析力と知識を高めなければなりません。知識集約時代とはそのためです。そして予防は対処より、膨大な能力や資源を要するので、それを賄う生産性Productivity改善が必要です。すべて人間社会の不幸を予防するためです。さて悪い3Pもあります: Populism, Protectionism, Pollution. 政治は単純で迎合主義Populismに陥らず、啓発に満ちたものであるべきです。経済は二つの世界大戦の教訓を忘れずに自由、無差別、多角主義をめざし、保護主義Protectionismを抑制しなければなりません。環境破壊Pollutionは人類共通の危機でこの問題を軽視してどの国も勝ち逃げることはできません。

## 麻生副総理と為公会

2016年8月1日麻生太郎副総理・財務大臣率いる為公会(麻生派)に入会。2005年に国会議員になって以来無派閥でしたが、参議院議員2期目に当選したことを契機に明るく前向きな政策集団の一員になりました。



## 千葉県はオリパラ8種目の開催地 サーフィンは外房一宮町

千葉県は、東京オリパラのオリンピック4種目、パラリンピック4種目の開催地。9月17日、千葉市の熊谷俊人市長自らも車いすバスケの模擬競技に参加するパラスポーツイベントにて、ポルトスで私も参加。12月4日には、五輪の追加種目として、サーフィンの一宮町釣ヶ崎海岸での開催が正式決定しました。